

■「メディア数理造形演習」について■

後期デザイン学科2回生選択専門科目「メディア数理造形演習」(長嶋)は、前期専門科目「サウンドデザイン」の発展として、前期に触れたMax/MSPのより実践的な応用、ライブグラフィクスに拡張したMax/jitterの活用、インスタレーション作品の基礎となる電子工作やプログラミングなどの専門的演習、グループに分かれたインタラクティブな作品の制作実験等を行います。ちなみに、インタラクシオン領域の科目「インタラクティブプロダクト演習」(長嶋も担当し最終課題制作まで支援)と両方を受講すると、Maxを活用して「1粒で2度美味しい」成長を遂げますので、インタラクシオン領域の学生だけでなくビジュアルサウンド領域の学生にも、この両方の受講を推奨します。

上記のように、「サウンドデザイン」を履修していない学生は「メディア数理造形演習」を受講できない、というのが基本的原則です。しかし他科目履修の関係で「サウンドデザイン」を受講できなかったり、単位を落としたもののこの領域を学びたい学生には、10-11月に「特別補習」の受講を条件に「サウンドデザイン」を取っていないなくても履修を許可します。希望する学生はまず、長嶋[nagasm@suac.ac.jp]にメールして下さい。

初日10月1日(金)の4限にはマルチメディア室に集合です。後期は電子工作の実習を電子制御機器制作室で行いますが、この場合には事前に講義の中で予告します。講義の進展とともに、両方を行き来するような場合もあります。

以上